

八代城主松井家伝来の書の名品 16 点一挙公開！

宸翰と古筆

しんかん

こひつ

八代市立博物館未来の森ミュージアム企画展示 松井文庫所蔵品より

— 優美なる書の世界 —



後陽成天皇筆 「龍虎」大字

一般財団法人松井文庫所蔵

平成27年9月1日(火)～10月18日(日)

会 場 八代市立博物館未来の森ミュージアム 第2常設展示室

観覧料 一般300円 高大生200円 中学生以下無料 お問合せ先 八代市立博物館(0965-34-5555)

しんかん こひつ 宸翰と古筆

—優美なる書の世界—

旧八代城主松井家に伝来した文化財には、天皇直筆の書である「宸翰」や有名歌人らの筆跡である「古筆」など、優れた書蹟作品が多く含まれています。これらの作品は、鑑賞するためのものであることはもちろん、所持すること自体が家の由緒と家格を示す大切な存在でもありました。今回は、松井家伝来の宸翰と古筆あわせて16点を展示し、その魅力を紹介します。

	名 称	員 数	法 量	作 者	時 代
1	源氏物語抜書懷紙	一幅	30.9×45.8	伝 後宇多天皇	鎌倉時代(13～14世紀)
2	二首和歌豆色紙	一幅	各 7.1×9.3	伝 後醍醐・後円融天皇	南北朝時代(14世紀)
3	禅語仮名著語	一幅	30.9×45.8	伝 後柏原天皇	室町時代(16世紀)
4	「龍虎」大字	一幅	122.5×61.3	後陽成天皇	桃山～江戸時代(16～17世紀)
5	「花鳥の」和歌懷紙	一幅	29.4×46.2	後水尾天皇	江戸時代前期(17世紀)
6	「桜ちる」和歌懷紙	一幅	29.9×49.7	後水尾天皇	江戸時代前期(17世紀)
7	「今日といへば」和歌小色紙	一幅	17.2×16.4	明正天皇	江戸時代前期(17世紀)
8	三十六人歌合切	一幅	30.2×42.5	靈元天皇	江戸時代前期(17世紀)
9	「見るとなき」和歌懷紙	一幅	31.0×46.0	靈元天皇	江戸時代前期(17世紀)
10	古筆手鑑	一帖	38.4×30.0	伝 聖武天皇 ほか	江戸時代(17～18世紀)作成
11	古筆手鑑	一帖	39.5×25.5	伝 聖武天皇 ほか	江戸時代(18～19世紀)作成
12	名家歌集切	一幅	26.3×37.5	伝 紀貫之	平安時代(11世紀)
13	後拾遺集切	一幅	14.7×13.6	伝 源俊賴	鎌倉時代(13世紀)
14	和歌小色紙	一幅	13.6×12.0	伝 源頼政	鎌倉時代(13世紀)
15	伝頼朝仮名消息	一幅	23.5×46.4	伝 源頼朝	鎌倉時代(13世紀)
16	足利尊氏書状	一幅	30.8×42.3	足利尊氏	正平3年(1348)